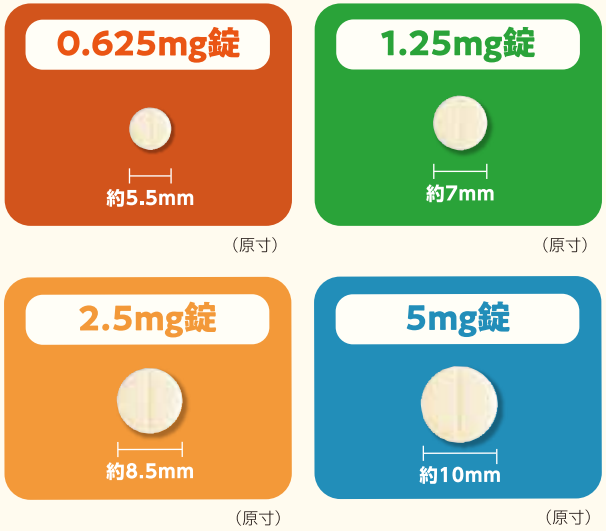
dsピモハートはどんなお薬?

お薬の特徴

心臓の動きが弱まったときに、心臓の収縮力を強くしポンプの働きをサポートします。また血管を拡げることで心臓内にたまっている血液が血管へ移行しやすくなり、心臓の負担を軽減します。

dsピモハート®錠は、0.625mg、1.25mg、2.5mgと5mgをラインナップ



（原寸）　（原寸）

（原寸）　（原寸）

1. 小型犬から大型犬までこの4剤形でカバーできます。
2. さじ加減の用量調整ができます。
3. 小さいサイズで飲ませやすい剤形です。

処方されたお薬の注意点

- ☐ **先生の指示を守る**
  決められた量を決められた回数で、きちんと投薬してください。
- ☐ **ちゃんと投薬できたか確認する**
  お薬を吐き出していないか確認しましょう。
- ☐ **飲み忘れた分を一度に投薬しない**
  1回程度の飲み忘れで、病気が重くなることはまず考えられません。副作用の原因になりますので、飲み忘れた分をまとめて投薬しないでください。
- ☐ **症状が良くなってきたからといって、自己判断で投薬を中止するのはやめましょう**
- ☐ **気がかりなことがあれば必ず先生に相談しましょう**

bah 物産アニマルヘルス

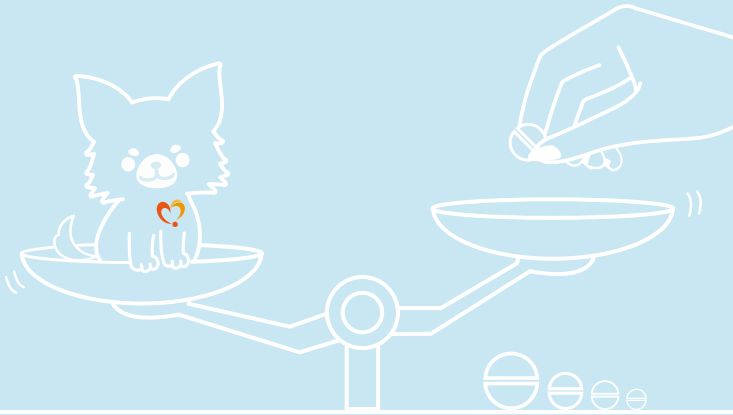
ペットフルライフ

3073AH HAB

ワンちゃんの心臓病

----- 僧帽弁閉鎖不全症 -----

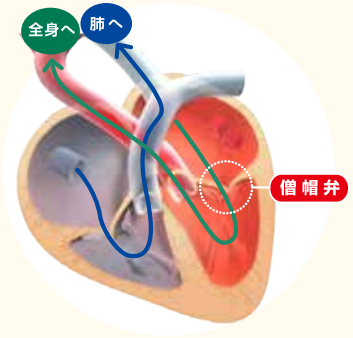
ご家族の皆さまへ



僧帽弁閉鎖不全症とは？

犬の心臓

健康な心臓は血液を送り出すために収縮・弛緩、弁の開閉が規則正しく行われます。慢性心不全の心臓は、弁が閉まらなくなることで血液が逆流し、心臓や肺に負担が掛かり、呼吸困難などさまざまな障害がでてきます。



身体に起こる変化

何らかの原因で僧帽弁がうまく閉じなくなる

↓

血液が逆流し、全身に循環する
血液の量が少なくなる

↓

全身に血液を送るために心臓がいつも以上に
頑張ることで、負担がかかり、心臓が肥大する

↓

肥大した心臓が気管支を圧迫して咳が出たり、
肺に水がたまる肺水腫を起こす

↓

治療を受けずに放っておくと死に至る

主な症状は？

咳がでる

●軽度の時は興奮時や軽い運動後にみられる。
●病気が進行すると安静時にもみられる。
※喉につっかえたような咳に注意してください。

散歩を嫌がる

●散歩の途中で立ち止まる。
●興奮すると息が上がる。

苦しそうに呼吸をする

●呼吸が速い。
※自宅での安静時の呼吸が1分間に40回以上になると肺水腫が疑われます。
●舌などの色が真っ青になる（チアノーゼ）。

その他の症状

脳に血液が足りなくなった場合、ふらつきや失神がみられたり、臓器でうっ血が進むとお腹に水がたまることもあります。

治療法は？

投薬

心臓の収縮力を高めるための強心薬や、心臓の負担を減らすための血管拡張薬や利尿薬が治療の主体となります。

食事療法

主食はできるだけ塩分の少ないフードにしましょう。

体重管理

心臓病を理由にダイエットをする必要はありません。過度の体重減少はかえって体力を落として心臓病と闘えなくなる可能性があります。

外科的治療

逆流を引き起こしている僧帽弁を修復する手術があります。手術が可能な施設は限られています。